

第2回 摂津市地域福祉計画推進協議会 議事録

日時 : 平成21年9月1日(火) 13:30~15:30

場所 : 市役所 本館3階 大会議室

出席者: 委員 15名

(敬称略: 会長・井岡、副会長・梶村、竹之下、下野、前田、三浦、園田、山下、直江、
武田、細川、北川、東江、前川、一居)

摂津市(地域福祉課) 5名

業者(地域社会研究所) 1名

計 21名

資料 : 次第

資料1 第1期地域福祉計画の進捗状況と課題

資料1-2 第1期摂津市地域福祉計画(平成17年度~21年度)関係施策まとめ

資料2 第2期摂津市地域福祉計画策定に係る実態調査中間報告書

資料3 地域福祉に係る関係団体の調査(中間報告)

資料4 スケジュール

資料 地域福祉懇談会を開催します

開 会

● 事務局

本日は公私なにかとお忙しい中、摂津市地域福祉計画推進協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。地域福祉課長の登壇でございます。

本日の出席委員は15名でございます。欠席委員の皆様は事前にご連絡をいただいております。それでは井岡会長からご挨拶と進行をよろしくお願ひしたいと思います。

● 会長

今日から9月1日ということで、日中は残暑きびしい中、お集まりいただきありがとうございます。本日は次第にしたがいまして、「1. 第1期地域福祉計画の総括(まとめ)」、「2. 実態調査(市民アンケート)」、「3. 地域福祉懇談会について」、「4. 関係団体の調査(団体アンケート)報告」となります。

それでは、次第に沿いまして、第1期地域福祉計画の総括(まとめ)ということですので、事務局より説明をお願いいたします。

1. 第1期地域福祉計画の総括(まとめ)

● 事務局

~「資料1」説明~

● 会長

地域福祉計画の進捗状況と課題を説明していただきました。これに対しましてご意見やご質問がありましたらお願いします。

● 委員

今の説明以外のところなのですが、前回の資料1-2に関連して質問させていただきたいと思

います。

1つは目標と実績を対比してありますが、計画と実績、予算と決算を対比して書いてほしいと思います。

共同生活介護・共同生活援助事業について平成18年度は3,600万円あまりとなっていますが、平成20年度には64万円に下がっているのはなぜですか。

小規模通所授産施設等移行支援事業について、平成18～20年度は1億円を超えているのに平成21年度では4,000万円台となっているのはなぜですか。

それから、ホームページ事業について平成21年度は500万円台に上がっているのはなぜでしょうか。

● 事務局

共同生活介護・共同生活援助、小規模通所授産施設等移行支援事業については障害者施策として、平成18年度から障害者自立支援法にもとづく制度となりました。新しい体系に移行することとなっています。作業所については同じ障害のある方でまとまっていたのですが、就労支援や作業など目的で分かれるなどしましたので、小規模通所授産施設等移行支援事業だけでなく、他の事業や項目に分かれたということになります。額が減ったということではありません。

ホームページについては構成を見やすくするようにシステムを組み替えたため、平成21年度に多くの予算がついています。

● 会長

総括表にご記入いただくようご依頼していたと思いますが、記入して頂いたことなどで何かありますでしょうか。

● 委員

本日の資料の資料1について、地域密着型サービスと書いてあります。認知症対応型共同生活介護で各1箇所、6ユニットはできていると判断してよろしいでしょうか。

● 事務局

この計画期間が平成17～21年度ですので、この期間に整備したものがわかるように示しています。認知症対応型共同生活介護については平成17年度にはできていました。認知症対応型通所介護は平成17年度以降に各1箇所という意味です。小規模多機能型居宅介護はまだ実施できていない状況です。平成22年度に開設予定です。

● 委員

はじめて参加させていただいたのでとまどっています。これだけの資料を当日みっていくのは難しいように思います。3～5日前に資料を送ってもらうようにお願いします。

第1期の関係施策まとめの資料ですが、A3の長辺が閉じられています。A4のファイルに綴じたときに読めなくなります。後々も読めるように綴じ方に注意していただきたいと思います。あわせて両面印刷は裏写りして読みにくいのでやめていただけないでしょうか。

● 事務局

ファイルした後の配慮をしていきたいと思います。用紙の両面について市役所では習慣としてそのようにしていますが、見やすさという点には配慮していきたいと思います。

● 会長

施設の整備についてはかなり進んできていると思うのですが、みなさんいかがでしょうか。

● 委員

色々進めてきたいと思っています。

地域福祉計画の会議に参加しているメンバーでも全体がなかなかわからない。施設の場所とか中身が理解できていない。そういうものの周知を頑張っていただきたいと思います。現場、市民の方がどこまで知っているのでしょうか。現在あるものだけでも整理してほしいと思います。

ホームページもみんなが見られるわけではありませんので。

● 事務局

市が実施しているサービスを我々が思うほどには知っておられないと実感しています。その点で、我々ができることとして、「地域福祉通信」を発行しようとしています。まずは核となっていただかないといけない、このような会議にでていただいている関係団体のみなさんに相談窓口や社会資源などを知っていただくために「地域福祉通信」をお配りする予定です。

地域福祉課の事業だけでなく、障害者支援や子育て支援についても掲載していきたいと思えます。

● 委員

同じ事になると思いますが、よくやっているかよくなっていないかという点では市はよくやっていると思えます。しかし、それをみんなが知らなければよくやっているとは言い難いと思えます。例えば、できたものとできていないものを案内することが大切だと思えます。

2時間の会議ですので、資料は事前に出してもらって、どこを議論するかを前もって伝えてもらうことが大事だと思えます。

地域包括支援センターや社会福祉協議会はよくやっておられますが、それをPRすることが大切だと思えます。

● 委員

施設整備について広報が大事だということです。できれば福祉マップをつくって関係団体だけでなく、地域福祉懇談会などの機会に配布するなどしていただきたいと思えます。知って頂く努力が必要だと思えます。

● 委員

自治振興課だったと思えますが、マップに公民館、集会所など、市の公共施設を記したものがあると思えます。市民の方は知らないのではないのでしょうか。

● 事務局

あのマップは大きくて他の情報も入りすぎていますので、北川委員がおっしゃったのは福祉の情報にかぎったもののご指摘だと思っています。

● 委員

北川さんや男女共同参画センターで作っておられた福祉マップがあると思えます。関係機関が作成したものなので、もう少し活用していただければと思えます。

● 委員

そういうことも事務局に出して、事務局は活用していただきたらと思えます。

● 委員

障害者団体ですが、当事者であっても自分に関係のないことには無関心で知らないことがたくさんありますので、まず知ってもらうことが大事だと思えます。リハサロンなどに関係されていない場合、また、自治会にも入らない場合などもあります。隣近所も何をしておられるかよくわからない状況です。もっと密着して、小さな単位で知ってもらうことが必要かもしれません。

● 委員

計画についてお願いがあります。前期の計画で、施策の方向は入っていますが、目標というものが全然入っていませんので、「今回はこれができるんだ」という目標が明記されているほうがいいのではないかと思います。後々5年間、年度ごとに進行管理をする上でも良いですし、一覧表にしておいてもいいと思えます。計画では数値目標は進捗表に書いてありますが、数値を伴わないものは全然書いてありません。しかし、その中には非常に重要なものもあります。例えば、「総合的な相談支援体制を進めます」とありますが、どの程度進んだのかわかりません。また、「地域福祉活動のネットワークづくりを推進します」とありますが、これもどの程度進んだのかわかりません。このような数値を伴わない取組みも入れて今後管理していただきたいと思えます。これはサービスの一覧表を作りまして、数値のあるものは入れていく、入れないものは進行表を書いていくということをしますと、いちいち計画の資料を読まなくてもよくわかると思えます。市民にはそれを広報に入れるようなことをすれば簡単にわかりますので。年度ごとに工程表（進捗状

況) を作って管理しておく必要があるのではないかと思います。

家庭医というのは、「あらゆる病気やけがの処置など総合的な初期診療ができる地域のかかりつけ医である」というように定義されているのですが、私が思うのには、摂津市でも診療科が整った病院が少ないというアンケートもあります。診療機関が北に偏在しているのではないかと、というのがあります。このような家庭医がいると、市民は非常に助かる格好の制度だと思うのですが、家庭医をあらゆる病気やサービスで配置できるような予算が実現するのかどうかという気がかりな点もあります。そこで、家庭医の希望者、病院の確保、治療の方針がわかれば良いと思います。

● 会長

2点提案されました。1つは計画の目標を設定するというのですが、計画はこれから追々立てていくわけですから、今回は意識的に入れていければいいと思います。2点目は家庭医のことですが、先生、ご説明お願いいたします。

● 委員

家庭医について、厚生労働省から家庭医構想というのが去年出されまして、今の専門医制度が学会ごとに定められていて権威がないという批判がある反面、家庭医（一般医）というのは厚労省が安いお金で家庭医にいろんなものを診させようというようなもくろみのもとに作った制度だということで、医師会が反対してつぶした経緯があります。また同じ家庭医という言葉が出てきていますが、今度は市民性という言葉を使っています。それも専門医に対応して市民性とか一般医とか書いているということです。専門医そのものにまだ、少なくともアメリカのような権威づけがなされていないということで、今もめているところです。摂津市でその道を決めるというのはとても難しいと思います。私個人について言いますと、専門医ではなく、一般医をめざしてきましたが、医療界では一般とか家庭医というのは低く見られています。皆さんも大病院のほうが好きのようで、一般医は下にいるという現実があると思います。これは私が一般医をめざしているから悔しくて言っているわけではないのですが、現実には大病院志向というのは非常に強くあります。専門医は学会で認められて何年かすれば専門医になれるという、アメリカのように専門医の数を制限して認定するような制度ができていませんので、どちらも非常に未熟な段階にあります。完全に専門医、家庭医、一般医と分業すればうまくいくわけでもなく、アメリカの医療が必ずしもうまくいっておらず、非常に問題だらけです。まだ日本の方が比較的低い医療費で皆さんが受診しやすい状況、病気になっても高額療養費で済んでいるということ、それでも医療費は高くなりましたので問題はあるわけですが、それは今後一緒に考えていただきたいと思います。地域福祉計画推進協議会で家庭医について議論するのはちょっとしんどいかなと思います。私が歴史的な概略を申しましたけれども、非常にもめている問題です。

● 委員

私も家庭医というものがわからなかったのでインターネットで調べてみたら、三重大学に総合診療科というのがありまして、家庭医を養成する機関だということでした。

● 委員

三重大学に限らず、あちこちで総合診療科というのは病院で作っています。この頃増えてきました。それも大学院時代から統合医とか総合医とか一般医としての教育は受けていません。そういうことを教育できる先生がいないんです。それでも何とか作ろうということで各病院で作り始めています。

● 委員

日本もイギリスみたいに家庭医に診てもらわなければ病院に行けないような制度がありますけれども、それぞれ一長一短ですね。うまくいっていません。下野先生がお話になったように、今は過渡期ですので総合医も難しいと思います。

● 会長

施設整備についてのご意見や「4. 福祉サービスの周知、利用促進」に関連したご意見ができました。あと、「2. 専門職の配置、地域における支援体制の整備」、特にネットワークのことです

が、これに関して何かご意見がありましたらどうぞお出しいただきたいと思います。

● 委員

専門職の配置については、法的にやっている専門職とそうでないものといろいろあるとは思いますが、摂津市としてはどういう判断で決めていますか。

● 事務局

難しい問題だと思いますが、地域包括支援センター等につきましては当然法制度的にどういう職種の専門職を事業所にどれだけ配置しなければならないかということが決まっています。また、コミュニティソーシャルワーカーにつきましても社会福祉士等の資格を持っているほうが望ましいですし、また、資格を持っていない場合でもそれなりの研修を事前に受けていただかないといけません。資格を持った方がされていることになります。それから、児童虐待の法律もございまずし、府が担ってきた業務のかなりの部分が市に下りてきています。そういった相談支援業務が非常に困難で、複雑な事情を抱えたケースが多く出てきておりますので、そういったケースに対応していくということで、従前は高齢者福祉の世界を見ましても、大学で一定の科目を受講した職員が社会福祉主事というかたちでケースワーク業務をやってきたという経緯はございますけれども、やはりそういった職員だけでは十分に対応できなくなっています。基本的には社会福祉士等の専門的な資格を持った者が対応していくということになるのではないかなと思います。事実、すでに高齢や障害福祉の職員にはそのような資格を持って入ってきているものもありますので、そのような方向性になるのかと思っています。

● 会長

他にいかがでしょうか。地域のネットワーク、地域の支援体制の整備・推進とあります。高齢者の虐待防止とか、要保護児童の対策協議会、子育て支援のネットワーク、それから、障害者の関係で、地域の自立支援協議会等がありますが、これらは全市レベルですので、本当は地域の中で寄り添うことが大事ですが、小学校区のネットワークはどうなっていますでしょうか。

● 副会長

私どもでは民生委員さんをお願いしています。

● 会長

地域のネットワークづくりに関して、前田委員はいかがでしょう。

● 委員

介護保険事業者や地域貢献的なネットワークがありますが、地域そのものではありません。

● 事務局

大体どの小学校区におきましても理事会、自治会、民生委員さん、老人クラブ、PTAさん、青少年指導員さんが校区福祉委員会を構成されていると思います。その中でいろいろな取り組みをされています。我々の認識としまして、市のほうから校区福祉委員会のほうに働きかけて情報提供をさせていただいて、一緒に地域の問題に取り組むということに関してはまだ不十分なところがあると思います。今現在、地域ネットワークを作っていますが、まだまだ市全体を大きくくくるような代表者レベルでのネットワークになっています。それを地域の中で細かく取り組んでもらうような働きかけが必要ではないかと思っています。具体的には、昨年度、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画の中で示していますが、地域ケア・高齢者虐待防止ネットワークとして、高齢者の安否確認や認知症高齢者、その家族への支援といった課題にぜひ地域でも取り組んでいただいて、地域別の会議を持っていただきたいと考えています。9月、10月には地域懇談会を開催しますので、単に計画を作るための懇談会ではなく、これから地域の集まりで市と一緒に方策を考えたり、意見交換をしたりする場を作るきっかけにしたいと考えています。

● 会長

それは第2期の計画策定の重要な項目になってくるのではないかと思いますので、地域福祉計画の進捗状況と課題に関してお気づきの点がありましたらお願いします。総括表について事務局からお願いします。

● 事務局

総括表は皆さんそれぞれご記入いただいていると思いますが、後ほど回収させていただきます。後日、事務局が皆さんのご意見をまとめて最終的な総括にしたいと考えています。

● 会長

ありがとうございました。計画の進捗状況の総括に関しては今日の会合で終わるということではなく、次回以降も総括の中身をきちんと明確にしていかななくてはならないというところです。そうでないと次の計画につなげられませんので、よろしくお願いいたします。今日は第1回の総括と課題ということにさせていただきました。次の論題、地域福祉計画に関する調査の結果について事務局のほうから報告をいただきたいと思います。

2. 実態調査（市民アンケート）報告

● 事務局

～「資料2」説明～

● 会長

ありがとうございました。第2期の地域計画に関連する実態調査ということで、中間報告がありました。興味深い点がいろいろあるかと思いますが、ご意見・ご質問等いただきたいと思います。いかがでしょうか。

● 委員

11 ページの地域の住みやすさ、定住意向ですが、現状を考えますと、摂津市の人口が一番多くなったのは平成2年で8万7千人だと思います。かがやきプランを拝見しますと、平成26年度は80,277人で人口が減っています。このアンケートを見てもそんなに住みにくいということは見受けられないのですが、市としてはどんなところに原因があると思いますか。

● 事務局

今、市では総合計画の見直しの作業をしていますが、その中で、今後の人口をどのように考えるかという議論があります。我々も本当の原因がどこにあるかと言われますと難しいのですが、議論されている内容としては、住居の広さの問題、学校教育の問題等いくつかの要素が重なっているのではないかと思います。

● 会長

日本全体が人口減少社会になってきていまして、そのような点では摂津市もその方向にならざるを得ないのではないかと思います。少しずつ減っているのでしょうか。

● 事務局

少しずつ減ってきています。

● 会長

特に少子化ですね。定住意向に関連して、自治会の立場ではどうでしょう。あまり出入りが無いという感じでしょうか。

● 委員

集合住宅は頻繁に出入りがありますが、戸建てでは定住される方がたくさんおられるようです。

● 会長

ありがとうございました。他に感想などいかがでしょうか。

● 委員

摂津市の職員の方でもある程度の収入があると高槻市や吹田市に引っ越すことが多い。摂津市は庶民のまちで、福祉等には力を入れているけれども、文化の面ではイメージが悪いという気がします。人間関係や自分が生まれ育った土地に対する愛着等、ソフトの面での市の魅力を考えていく必要があると思います。

● 会長

でも、この調査では割合肯定的なのですね。

● 委員

住宅事情もあるのではないのでしょうか。今住んでおられる方は、例えば、20坪そこそこの家で2階建てとか3階建てで住んでおられて、建て替えをしたり屋上に増築したりするよりは分譲でワンフロアで広いほうが便利だということで大型マンションへの入居を考えるけれども、摂津市には大型マンションがない、ということではないのでしょうか。

● 委員

大きくは、経済的な事情、地域のコミュニケーションや文化的な部分での事情があるのだと思います。

● 会長

この調査に関しては興味深い結果が出ているのですが、回収率が低いのが残念です。督促ができないということもありましたが、34%というのが摂津市の現実かなと思います。つまり、地域のことに對してまだまだ関心がない、こんな調査票が来ても書かない、ということです。割合具体的な設問ですのでそんなに難しかったとは思えないのですが、ちょっと残念に思います。

● 委員

設問の数が37ありますので、これだけ読んでいたら嫌になるのではないのでしょうか。外しても差し支えない設問は外してもいいと思います。

● 委員

前回調査から4ページ、設問は10削ってなんとか12ページに収めました。私の経験では、自由記述を除いて30問くらいが適当ではないかと思いますが、今回事務局を含めて1次の打ち合わせがあって、地域参加意向のところではボランティアや社会貢献についてぜひ聞きたい、既存の施設についてどのくらい周知されているのか、という部分は外せないというお考えでしたので、それを残すとこれ以上削りようがなかったというのが正直なところです。

● 会長

回答には小一時間はかかりますでしょうか。あるいは、20分くらいで済むのでしょうか。

● 委員

最初の属性の部分は直感的に回答できますが、それ以降はしっかり読む必要がありますので、それで回収率が低かったのではないのでしょうか。

● 会長

何分くらいを想定して作られたのでしょうか。

● 事務局

大体20分くらいですが、滞りなく進んで20分、いったんどこかで止まってしまうとそれ以上の時間がかかります。摂津市の職員でたまたま抽出されて回答した者に聞きますと、やはり自分自身が地域福祉活動に参加していないとどこかでひっかかってしまって、後が書けない、ということがあるようです。

● 会長

この34%という低い回収率をカバーする方法として督促状を送付することも考えられますが、時期的に難しいようですので、地域懇談会がまもなくありますけれども、そこに参加される方と同じ調査をすることになっておりますが、参加される方は意識が高いと思いますので、アンケートを回答していただくことには意味があるのではないかと思います。これは可能ですね？

● 事務局

この680件とは別に処理することになるとは思います。懇談会でお渡しできるか検討します。

● 会長

後日郵送していただくことになりますでしょうか。地域懇談会の場合には懇談会に参加してどうだったかという簡単な意見もほしいですね。

● 事務局

もちろん地域懇談会についても懇談会終了後にアンケートに回答していただくことを考えております。

● 会長

そうですね。ありがとうございます。

● 委員

地域懇談会では地域の方が出席されるわけですが、属性に偏りのないように根回しをすることはできないでしょうか。いつもと同じ顔ぶれでは不特定多数の意見を求めるには問題があるのではないかと思います。

● 会長

せっかくそのように意見が出ておりますので、関係団体のことは後に回しまして、地域福祉懇談会について少し議論をさせていただきたいと思います。今の意見に対する回答も含めて、事務局からお願いします。

3. 地域福祉懇談会について

● 事務局

～日程等説明～

各校区の福祉委員会の方と日程調整をした上で決定させていただきました。また、PRについて、本日9月1日付の広報紙への掲載、関係団体、公共施設へのチラシの配布をしております。

● 委員

懇談会の対象者はどのような方ですか。

● 事務局

5年前に第1期の計画を作る際にもこのような懇談会を開催し、やはり広く集めるということを目安にして土曜日・日曜日にも設定しましたが、現実には思うようには人が集まりませんでした。我々が今回考えましたのは、実際に日常的に地域福祉活動にある程度関わってくださっている方のご意見をまずは優先してお聞きすべきだろうということです。それと、改めてこの時期に場を設定して集まっていただくのは大変ですので、日程の設定につきましては各校区福祉委員長と相談をしまして、リハサロン終了後、当事者ではなく、校区福祉委員の方、ボランティアの方に残っていただけるような時間帯に設定したいと思います。それに加えて、校区福祉委員会に入っていております団体の方やその他地域の関係の方に来ていただくことを基本に考えています。リハサロンを持ち回りで開催される地域では別途日程の調整をさせていただきました。

● 会長

1箇所につきどのくらいの人数を想定しておられますか。

● 事務局

できれば30名程度とっております。

● 委員

自治会としては、日頃から地域ネットワークに関わっている人が中心になって今回の懇談会に参加しますので、大分違った意見になるのではないかと思います。

● 会長

高齢者が多いということになりますでしょうか。

● 委員

そうではないと思いますが、平日の昼の開催ですから、20歳代で会社を休んでまで参加するような熱心な人は少ないと思います、比較的時間に余裕のある方、主婦等になると思います。

● 会長

校区福祉委員さんはいかがでしょう。

● 副会長

民生委員さん、福祉ボランティアさん、自治会長さん、PTAさん等になると思います。

● 会長

1校区にどのくらいの福祉委員さんがおられるのでしょうか。

● 副会長

20人から30人くらいです。大きいところでは1000人くらいの自治会もありますし、60人から70人くらいのところもありますので、自治会によって参加できる人数は変わってくると思います。

● 会長

地域懇談会の成功に向けて何か他にご提案はありますでしょうか。

● 委員

自治会を運営していく中で、私も福祉委員会をやっていく中で、今回の調査では独居を心配しておられる方が四十何パーセントおられるということです。そういう人が地域を守っていくというかたちになるのではないかと思います。そのような面をうまく福祉委員会で活用できるようにすればいいのではないのでしょうか。

● 委員

事前に参考資料を配布しておけば、各々自分が積極的に話せることを考えることができるのではないのでしょうか。

● 事務局

懇談会では机を3つほど用意しまして、ワークショップのようなかたちになります。3つのテーブルそれぞれ、テーマが異なり、高齢者介護や子育て支援について、また、地域でのお付き合いや困りごと等について意見を出していただきます。各テーブルに職員が1人ついてサポートするというような工夫を考えています。また、今回ご指摘がありましたように、事前に今回のアンケート調査の概要を配布することも検討しております。

● 会長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

● 委員

午前中の作業部会、職員の庁内会議ですけれども、そちらにもアドバイザーとして出席しておりましたが、先ほどご紹介いただいたような助言をさせていただいたり、あるいは、すでに地域懇談会の持ち方自体はワークショップ形式ということで決めておられましたが、限られた時間の中で「さあ、自由にお話ください」と言われても難しいので、各テーブルに市の職員さんがファシリテーターとしてつくにしても、先に趣旨説明をしっかりといただくということと、セッションが終わった後に、1次計画を踏まえて、これから市として取り組むべきことを具体的にご説明くださるということでしたので、それを先にさせていただくよう事務局にはお願いしております。

● 会長

ありがとうございます。他になければ、関係団体の調査結果について事務局のほうからご説明いただきたいと思います。

4. 関係団体の調査（団体アンケート）報告

● 事務局

～「資料3」説明～

● 会長

団体アンケートについてご報告いただきました。何かご質問・ご意見はございますでしょうか。

● 委員

今回の団体アンケートに関しては事前に事務局に相談があってまとめさせていただいたのですが、ぜひ地域の福祉関係の活動者とこのアンケートをきっかけにお互いの思いをつないでいくよ

うなかたちを、事務局、地域福祉課だけではなく、社会福祉協議会をはじめ、ここにいらっしゃる各代表の方を核にして進めていくということが、このアンケートをとったということよりも大切になってくるのではないかと考えています。

● 会長

団体ごとに詳しく出ておりますし、非常に貴重な資料だと思いますが、各団体に共通する傾向を整理されることを加えてお願いしたいと思います。

5. その他

● 事務局

～「資料4」説明～

次回の会議ですが、第3回で、調査結果の報告になります。今回は中間報告でしたので、最終の報告です。それから、計画の骨子案の検討をしていただく予定です。10月の下旬から11月の上旬ぐらいに次回の会議を持ちたいと思います。

● 会長

先ほどの地域福祉懇談会では推進協議会委員さんが参加してくださるということで大変ありがたいと思います。ぜひ最寄りの地域でご参加いただきますようお願いしたいと思います。よろしくお願いします。推進協議会委員さんが参加する場合は事務局に届けていただいたほうがよろしいのでしょうか。

● 事務局

当日お越しくだされば結構です。

● 会長

ありがとうございました。第2回地域計画推進協議会、事務局の報告に基づいて活発にご議論いただきましたことを感謝いたします。それではこれもちまして終了いたします。どうもありがとうございました。

閉 会